

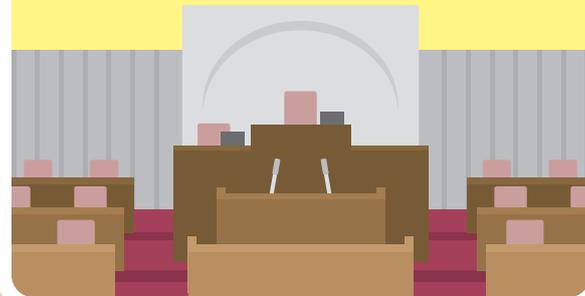
益城町 議会だより

清水

せ い す い

令和7年(2025)
9月
定例議会
No.97

夏休みに行われた 子ども議会



令和7年度一般・特別会計補正予算	… P2
令和6年度一般・特別会計決算認定	… P3
条例改正・その他	… P4～5
常任委員会レポート	… P6～7
町政を問う(5人)	… P9～11

令和7年
第3回
定例議会

令和7年第3回定例議会は、9月8日から17日まで10日間の日程で開催され、専決処分1件、令和7年度益城町一般会計補正予算等（5件）、令和6年度益城町一般会計決算認定等（7件）、条例改正（4件）、その他7件について審議し、全議案とも可決等した。そのほか、報告5件が提出された。また、9月10日に5名の議員が一般質問を行った。

令和7年度一般会計補正予算(第3号)

私立保育所の運営給付費等で、3億3,725万円を追加

■ 主な補正項目と補正額

補正主要項目		補正額
歳入	地方交付税	740,469
	国庫支出金	80,023
	繰越金	576,849
	繰入金	△1,207,015
	町債	98,000
	計（すべての補正を含む）	337,249
歳出	私立保育所等運営給付費	120,097
	ふれあい交流館解体工事費	50,000
	LP ガス使用世帯支援補助金	20,860
	高齢者新型コロナウイルス予防接種業務委託料	△17,378
	計（すべての補正を含む）	337,249

（補足）交付税等の増額により基金の取崩しを戻しているため、繰入金が大減額となった。

解説 歳出の主な補正は、私立保育所等運営給付費1億2009万7千円、ふれあい交流館解体工事費5000万円、LPガス使用世帯支援補助金2086万円、高齢者新型コロナウイルス予防接種業務委託料△1737万8千円などである。債務負担行為補正では、令和8年度からの事業として、地域子育て支援拠点事業及び子育て援助活動支援事業8714万7千円、介護保険事業等計画策定事業401万5千円が追加、小中学校タブレットPC整備事業の期間が令和12年度までに変更された。

質疑応答
震災からの10年事業
問 震災10年事業の具体的な内容を聞きたい。
答 次世代への継承を目的としたワークショップや防災意識を高めるシンポジウムの開催等を行なう行政、NPOなどの団体に、一団体当たり上限30万円まで補助する。また町職員などの行政関係者、区長や消防団などの団体関係者、住民、ボランティアなどの支援関係者から、30人程度のインタビュー集を作成する。

問 公民館津森分館のエアコン更新
答 建替え予定の津森分館のエアコンをなぜ更新するのか。
分館の移転新築には2、3年かかるため設備を更新する。移転後は新築の分館に移設する。



導入予定のタブレットイメージ

問 小中学校タブレットPCはキーボード付き
答 小中学校タブレットPC整備事業で、タブレットのカバーにキーボードが付いたPCを導入できないか。
令和8年度の更新時に、タブレットのケースがキーボード一体型で折り畳めるPCの導入を予定している。

専決
一般会計補正
解説 8月10日の大雨災害復旧関連経費1億550万円増額。
※専決処分とは、本来は議会の議決を必要とする案件を、緊急な事情がある場合等に、議会の議決に代わって町長が意思決定することです。

解説 介護保険特別会計補正
解説 過年度補助金未使用分の返還2億7563万7千円増額。
解説 下水道事業会計補正
解説 水処理棟放流渠の補強工事2900万円増額。

他の補正予算
解説 国民健康保険特別会計補正
解説 決算繰越金増による基金積立・予備費増額等で1億9853万9千円追加増額。
解説 後期高齢者医療特別会計補正
解説 後期高齢者医療広域連合納付金1835万8千円増額等で2508万9千円増額。

令和6年度一般会計・特別会計決算

令和6年度一般会計は、歳入235億243万円、歳出224億2512万円、歳入歳出差し引き額10億7731万円で可決・認定した。

主要な決算状況及び質疑討論は以下の通り

■ 一般会計（歳入歳出主要事項）決算

		(千円)		
		予算現額	収入済額	不納欠損額
歳入	町税	4,031,808	4,042,967	4,724
	地方交付税	5,039,713	5,039,713	0
	町債	4,432,017	2,789,300	0
	計	26,262,333	23,502,432	6,380
歳出	款	予算現額	支出総額	不用額
	民生費	7,079,313	6,974,416	88,121
	土木費	5,795,276	4,147,098	150,620
	教育費	2,599,987	1,991,278	148,244
	災害復旧費	2,204,151	1,611,078	497,522
	計	26,262,333	22,425,121	1,486,111

■ 特別会計等（産業団地特別会計除く）決算

		(千円)		
		予算現額	収入済額	収入割合
国民健康保険	歳入	3,923,569	3,858,459	97.7%
	歳出	3,923,569	3,461,154	462,414
後期高齢者	歳入	604,684	581,830	99.6%
	歳出	604,684	559,440	45,243
介護保険	歳入	3,987,046	3,970,463	99.9%
	歳出	3,987,046	3,645,366	341,679
下水道事業会計 収益的収支	収入	1,544,055	1,420,843	予算額との比較 △123,212
	支出	1,475,543	1,350,595	不用額 124,948
水道事業会計 収益的収支	収入	551,644	547,269	予算額との比較 △4,375
	支出	530,127	502,379	不用額 27,748

解説

熊本地震から9年目を迎え、復興事業も一部を除き終了しつつある中で、復旧復興事業等で起債した町債を本格的に返済する（公債費）時期を迎える。令和6年度決算は、歳入総額235億243万円で、前年度に対して15億33万円、率にして6%の減、歳出総額が224億2512万円で前

年度に対し10億3421万円、率にして4.4%の減、歳入歳出差引残高（形式収支）は、10億7731万円になった。

質疑応答

問 令和6年度決算後の町債（借金）残高はいくらか。令和6年度内に流用した件数及び総額はいくらか。

答 令和6年度末の町債残高は、507億759

問 令和6年度のふるさと納税額は10億5700万円に対して、企画費の委託料が納税額の半分以上の6億3700万円だが、その理由について伺いたい。

答 ここでの委託料は、ふるさと納税以外の業務委託料が含まれ、令和6年度のふるさと納税委託料は、5

億2700万円で令和5年度の返戻品代も含まれている。

賛否討論

反対者 甲斐議員

私は、歳出民生費中の地方改善費同和事業を続けると、逆に住民間の垣根を作り、逆差別を生み、部落差別の固定化永久化につながり反対。また後期高齢者医療特別会計は、年齢で異なる保険制度にするもので反対。

賛成者 木村議員

私は、熊本地震等災害からの復旧、益城西原消防署の改修、町の将来を見据えた街路事業などの予算執行がなされ、また後期高齢者医療制度は国の法律に基づくものであり賛成。



令和6年度完成の地域共生センター

条例改正等の審議

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、本町の関係する4つの条例について改正するもので、慎重審議の後、4議案とも可決成立した。

益城町職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正

解説 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い条例を改正するもので、今回の改正により、職員またはその配偶者が妊娠し、または出産したことを申し出た場合には、子どもの年齢に応じた柔軟な働き方が出来るよう措置を講ずることが義務づけられた。

これに伴い、①仕事と育児との両立支援制度等に関する情報を提供すること、②両立支援制度等の利用に関する意向を確認すること、③生まれる子どもの心身の状況や職員の家庭の状況等により、仕事と育児の両立に支障となる事情の改善に資する意向を確認することなどを条例に規定する。また3歳未満の子を養育する職員も同様とされた。

益城町職員の育児休業等に関する条例改正

解説 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い条例を改正するもので、主な改正内容は、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の

両立をより一層支援するため、既存の1日につき2時間を超えない範囲内の部分休業を第1号部分休業と位置づけるとともに、新たに1年につき10日相当の範囲内の部分休業を第2号部分休業として新設するものである。



益城町技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例改正

解説 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い条例を改正するもので、主な改正内容は、1日の勤務時間の一部を勤務しない部分休業制度が、1日の勤務時間の全部または一部について勤務しないことを選択できるようになるための改正である。

益城町水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例改正

解説 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い条例を改正するもので条例の主な改正内容は、1日の勤務時間の一部を勤務しない部分休業制度が、1日の勤務時間の全部または一部について勤務しないことを選択できるようにするための改正である。



条例改正の質疑応答

問 益城町職員の育児休業に関する条例改正について2点質問したい。

まず、本条例改正により、益城町職員の部分休業と有給休暇の取り扱いについて伺う。2点目は、今回の条例改正により職員の部分休業が取りやすくなる反面、残された職員の負担が増大する事になり、職員の定数見直しにまで進んでしまうのか伺う。また、該当する職員は現在何人いるのか？

答 職員の現行の有給休暇の日数については変更はない。

今回の条例で決められた部分休業は、給料の減給の対象になるので、有給休暇とは全く切り離されたものと考えている。また今回の条例改正に伴い、職員の定数改正は考えていない。先般の定数改正の時に増加した定数内で補えるものと考えている。なお、現在部分休業取得者は7名となっている。

報告・その他の審議

工事請負契約の締結5件・町道の路線廃止1件・認定1件について審議し、全議案とも可決した。また、5件の報告を受けた。

工事請負契約の締結

益城中学校普通教室棟増築工事

○工事内容

既設校舎に接続する鉄骨造3階建ての普通教室棟計9教室の増築工事

○工期

契約締結日の翌日から

令和8年3月31日(予定)

○契約金額

573,430,000円

○契約先

株式会社 豊工務店

益城インター北産業団地造成工事(一工区)

○工事内容

産業団地整備に係る深層混合処理工による地盤改良工事

○工期

契約締結日の翌日から

令和8年7月2日(予定)

○契約金額

607,238,262円

○契約先

株式会社 鴻池組

福原袴野線落石対策(第2期)工事

○工事内容

治山・地すべり(落石)防止工事

○工期

契約締結日の翌日から

令和8年3月31日(予定)

○契約金額

89,151,700円

○契約先

株式会社 ツチヤ工業

旧第二幼稚園解体工事

○工事内容

廃園となった旧第二幼稚園の鉄筋コンクリート造園舎及び同敷地内工作物、植栽、倉庫等の解体工事

○工期

契約締結日の翌日から

令和8年2月27日(予定)

○契約金額

60,247,000円

○契約先

株式会社 杉浦解体

町民憩の家解体工事

○工事内容

町民憩の家及び別敷地にある当該施設ポンプ室の解体工事

○工期

契約締結日の翌日から

令和8年3月25日(予定)

○契約金額

56,714,900円

○契約先

東大建設 株式会社

町道の路線廃止

○路線番号

2099

○路線名

馬水西原4号線

町道の路線認定

○路線番号

2099・5064・5065

○路線名

馬水西原4号線・潮井公園南線・高遊原公園線

町長委任決裁事項の報告

本会議の初日に、町長からすでに町長が決裁した5件の報告があった。

損害賠償の額の決定

金額 19,800円

駐車中の隣の車両に接触し損傷を与えた物損事故

損害賠償の額の決定

金額 28,050円

積載車を後退中後続車両に接触し損傷を与えた物損事故

令和6年度健全化判断比率の報告

早期健全化基準から大きく下回っており健全な状況である。

令和6年度公営企業資金不足比率の報告

三つの会計があり、いずれも健全な経営の状態にある。

株式会社未来創成まじきの経営状況の報告

第六期の経営は健全な状況にあり、利益剰余金を次期以降の準備資金としている。



解体される旧第二幼稚園と憩の家

常任委員会レポート

9月議会

総務

益城中の普通教室 9クラス分増築

全委員出席のもと付託された11議案について執行部より説明を受け、慎重審査の結果、10議案については原案どおり全会一致で可決認定した。1議案については賛成多数で可決した。

補正予算案では地方交付税の決定時期に関する質疑があり、普通交付税は7月に、特別交付税は12月及び3月に決定されるとの説明を受けた。次に、飯野小学校創立記念事業等補助金に関する質疑があり、このほど要綱を制定し、各学校の創立記念特別講演等の実施費用に30万円を上限に補助金を交付すると説明を受けた。

全国・九州大会出場助成金について質疑があり、これまでスポー

ツ関係のみであった対象を文化関係にも広げることによる予算措置であるとの説明を受けた。

交流情報センター駐車場拡張設計委託料に関する質疑があり、交流情報センター北側の駐車場再整備に伴う設計委託料との説明を受けた。

決算認定では利子の不用額に関する質疑があり、予算編成時は起債対象事業の限度額で計上するが、事業の実績や進捗により繰越となったため生じたものとの説明を受けた。

次に、一般会計決算の状況の主要な施策の成果で事務事業等の見直しの成果について質疑があり、行政改革等で組織全体として進めるものや、予算編成時

福祉

可燃ごみの直接搬入はクリーンセンターで受け入れ、熊本市の処理工場へ

全委員出席のもと付託された9議案について審査し、7議案については全会一致で可決・認定し、2議案については賛成多数で可決・認定した。

令和7年度益城町一般会計補正予算中、障がい者運転免許取得費・自動車改造費助成金90万円について質疑があり、実績から不足が生じる見込みとなり増額補正するものと説明を受けた。

私立保育所等運営給付費1億2千万万について質疑があり、対象保育所は町内16か所及び広域21か所の計37か所の給付を行うもの。さらに、保育士等派遣業務委託料について、職員の育児休業及び産前産後休暇の取得による保育士不足から、10月以降の1名分の予算であるとの説明を受けた。

令和7年度国民健康保険特別会計補正予算では、国保財政調整基金積立金の1億円について質疑があり歳入が多かった分の積立金との説明を受けた。

令和6年度一般会計決算認定では、地域サロン等活動支援助成金に関連し、老人クラブに対する支援について質疑があり、町老人クラブ連合会に対し167万円、各地区の24の単位老人クラブに対し132万円の補助金を交付し会員数の合計は1303名であるとの説明を受けた。

敬老祝金については、対象者88歳が225名、100歳が18名、祝金の合計は540万円との説明を受けた。

視察した現場のうち、クーリングシェルターに指定されたグランメッセ熊本では、避難場所としての機能及び利用可能な場所や時間の説明を受けた。町民への周知については、広報紙やホームページで周知しているとの説明を受けた。

益城クリーンセンターでは、可燃ごみの処理状況について質疑があり、町民の直接搬入はクリーンセンターで受け入れ、熊本市の処理工場に搬入してい

ること。委託している熊本市への支払いは、4月から7月までで3町村で約8000万円であったこと。施設や設備が更新時期を迎えていることから、慎重に管理、対応していると説明を受けた。



益城クリーンセンター



「クーリングシェルター」に指定された
グランメッセ熊本

9月議会

常任委員会レポート

に見直しを行っているとの説明があった。

益城中学校普通教室棟増築工事で地盤沈下への懸念、工事車両の進入経路、増築完了後のトイレ混雑への懸念、及び工期への質疑があり、熊本地震を踏まえ適切な地盤対策を行い、工事車両については主に西側通路から進入し大きなものは北側の正門を利用する。トイレについては既設校舎の各階に複数設置してあるため対応可能である。工期については国庫補助金が単年度であるため令和7年度中としているとの説明を受けた。

福原袴野線落石対策工事現場については、既に落石防護柵などが施工されている箇所を見ながら工法など概要説明があった。委員からは、落石防護柵の角度や施工箇所の詳細な状況、工事金額の積算方法、予算措置について質問があった。

交流情報センター



交流情報センター視察



福原袴野線落石対策工事

駐車場予定地については、拡張工事の対象となる北側駐車場について説明を受けた。また、駐車場の整備イメージについて資料を基に説明があった。工事に伴い駐輪場はどうなるのか、利用状況や移設の場所などについて質問があった。

災害復旧費を含む一般会計補正予算可決

建設経済

全委員出席のもと付託された7議案を慎重審査の結果、全議案、可決・認定した。

令和7年度益城町一般会計補正予算中歳出熊本半導体イノベーション協議会負担金について、目的や構成団体について質疑があり、熊本県内の半導体関連企業及び大学、自治体等により構成された協議会であり、企業誘致などを円滑に進めるための情報収集等を目的としているとの説明を受けた。

災害復旧費監督支援業務委託料について、また、業務名について質疑があり、監督員支援業務と災害査定業務は、業務内容が相違することから、業務名を災害査定支援業務委託料に変更したい旨、申し出があった。委員からは、常任委員会だけでなく、本定例会の中で訂正すべきであるとの意見があった。

令和7年度益城町下

水道事業会計補正予算については下水道事業の抜本的な経営戦略の見直しについて質疑があり、令和8年度中の農業集落排水事業と公共下水道の統合を進めており、今回の決算を受けて経営戦略の見直しを行うと説明を受けた。

自力復旧事業補助金補償対象者について質疑があり、令和5年7月豪雨の災害復旧査定に該当しなかった農家のうち、自ら復旧に要した費用の20万を限度に2分の1を補助すると説明を受けた。



第二南北線（第1工区）工事現場



町道認定路線（高遊原公園線）

令和6年度益城町一般会計決算認定の益城台地東土地区画整理組合総会資料送付業務委託料に関して、組合の状況について質疑があり事業計画変更に向けてコンサルとの契約を行い、測量及び業務計画の検討を進めているとの説明を受けた。

視察した、町道認定路線の高遊原公園線の延伸については、歩道の延伸について質疑があり、今後検討するとの回答があった。第二南北線第一工区工事現場では、業務内容について説明を受けた。

《9月議会での主な議案への賛否の状況》

議案名	結果	坂井	木村	西山	上村	富田	下田	吉村	甲斐	中川	野田	宮崎	坂田	中村	稲田	渡辺	荒牧	松本	議長
		金次郎	正史	洋一	幸輝	徳弘	利久雄	建文	康之	公則	祐士	金次	みはる	健二	忠則	誠男	昭博	昭一	正敏
令和7年度益城町一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度益城町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度益城町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度益城町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度益城町下水道事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度益城町一般会計決算認定について	認	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度益城町国民健康保険特別会計決算認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度益城町後期高齢者医療特別会計決算認定について	認	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度益城町介護保険特別会計決算認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度益城町産業団地特別会計決算認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度益城町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	可認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度益城町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	可認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
益城町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
益城町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
益城町技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
益城町水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	棄	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線廃止について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 棄：棄権 欠：欠席 可：可決 否：否決 同：同意 採：採択 認：認定
 ※議長は賛否同数の場合を除き、通常の採決には加わりません。

質問議員	質問事項
吉村 建文	1. 防災・減災への町の対策とトイレトラックの導入は 2. 公共施設に給水スポットの設置を 3. 高齢者の終活情報を町へ登録しては 4. 「小学校1年生の壁」問題についての対応は
上村 幸輝	1. 大規模盛土滑動崩落防止事業工事終了後の補償工事は 2. 益城インター北産業団地の進捗状況は
西山 洋一	1. 県営野球場の誘致を益城町も検討しては 2. 広安地区の新たなグラウンドの構想は 3. 惣領交差点から秋津川惣領橋までの県道の進捗は
坂井 金次郎	1. 上益城5町のごみ処理施設の建設は 2. 益城町子ども計画について 3. 図書館を含むミナテラス整備方針は
甲斐 康之	1. 加齢性難聴者への補聴器購入補助の助成拡充を 2. 大雨による床上・床下浸水の被害に対する対策は 3. 益城町は避難所のトイレ数は基準を満たしているのか

5名が町長・教育長に一般質問を行いました。



◇一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。なお、質問時間は、1人60分で、同じ質問は3回までとしています。

トイレトラック導入
 についてその後の進展は

費用対効果も考慮しながら

引き続き検討を進める

吉村 熊本地震から10年を迎えるに当たり、全国の支援に対する恩返しとして、トイレトラック導入を考えてみてはどうかと昨年質問したが、その後の調査・研究は進んでいるのか。

町長 全国の皆さんから頂いたご支援に対する感謝の気持ちをトイレ支援という形で恩返しすることとは有意義なことであると思っっている。既に導入運用している自治体で、費用対効果も考慮しながら、引き続き検討を進めていきたい。

吉村 増加する単身高齢者に対して、自治体が終活支援に取り組む所が増えている。65歳以上の高齢者に対して、万一の備



益城町作成のエンディングノート

吉村 熊本地震から10年を迎えるに当たり、全国の支援に対する恩返しとして、トイレトラック導入を考えてみてはどうかと昨年質問したが、その後の調査・研究は進んでいるのか。

町長 全国の皆さんから頂いたご支援に対する感謝の気持ちをトイレ支援という形で恩返しすることとは有意義なことであると思っっている。既に導入運用している自治体で、費用対効果も考慮しながら、引き続き検討を進めていきたい。

吉村 増加する単身高齢者に対して、自治体が終活支援に取り組む所が増えている。65歳以上の高齢者に対して、万一の備

町長 熊本地震から10年を迎えるに当たり、全国の支援に対する恩返しとして、トイレトラック導入を考えてみてはどうかと昨年質問したが、その後の調査・研究は進んでいるのか。

吉村 増加する単身高齢者に対して、自治体が終活支援に取り組む所が増えている。65歳以上の高齢者に対して、万一の備

町長 熊本地震から10年を迎えるに当たり、全国の支援に対する恩返しとして、トイレトラック導入を考えてみてはどうかと昨年質問したが、その後の調査・研究は進んでいるのか。

吉村 増加する単身高齢者に対して、自治体が終活支援に取り組む所が増えている。65歳以上の高齢者に対して、万一の備



期限なき宅地擁壁永年保証 絶対に避けるべきでは

補修等は本町が行うべきものと認識している



上村 熊本地震により住宅をはじめ、住宅敷地も石垣の崩壊や法面崩落により多くが被災した。住宅については生活再建支援制度などが適用され、幾ばくかの支援があった。しかし宅地については、補助対象事業1000万円のうち50万円を超える部分の3分の2が復興基金から補助される自力復旧が基本であった。

宅地の補償工事が全額町の単費で行われている。当然だが、自力復旧の宅地787件に対する補償は一切ない。

しかし、滑動崩落防止事業による個人の財産に供される846件の宅地について、言い換えれば「町民みんまで保証していく」ことになるがどのように考えているか。

そんな中、国の大規模盛土滑動崩落防止事業の要件に該当する地区では、個人に成り代わり公による宅地復旧工事が行われた。

工事が終了し、引渡し時に交わされた覚書には、有効期間は「施設が存続する期間」とあり、耐用年数もなければ期限もない。町として、期限なく負う保証リスクは、絶対に避けるべきではないか。

東日本大震災では10%の受益者負担金が発生したが、益城町では個人負担金の発生はない。現在、事業は終了し各地権者の管理となっているが、今まで29件、総額約2273万円の擁壁や

調査を行った1万188宅地のうち846宅地の大規模盛土滑動崩落防止事業による施設は、益城



個人財産の一部に供されている公施工の擁壁

台地の滑動崩落防止を目的とする極めて公共性の高い公共事業である。

846宅地が公共施設としての役割をはたしている間はその補修などは道路などの公共施設と同様に、本町において実施することが適切であると認識している。

県営野球場の誘致を 益城町も検討しては

法的な課題等も多く
慎重な検討が必要



西山 藤崎台県営野球場の移転、再整備がほぼ決定したが、本町も移転候補地に名乗りを挙げてはどうか。

本町は県のほぼ中央に位置しており、高速道路インターチェンジを有するなど立地条件としては申し分ないと思うが、開発規制等の制約が多いなど課題であり、候補地として手を挙げることは難しいことは理解しているが、県から候補地としての相談や打診等があった場合は前向きに検討できるのか。

まで熊本県の意向と主体的な取組が不可欠であると考えます。

移転候補地については菊陽町が誘致を表明しているが、本町も空港やインターチェンジがあり、立地的には申し分ないと思っている。また、移転されればスポーツ振興や地域活性化に繋がる期待がある一方、球場までのアクセス道路や域交通の渋滞などの課題も推察されることから、移転候補地としての表明については、熊本県及び周辺自治体の動向を注視しながら、慎重な検討が必要と考えている。

町長 藤崎台県営野球場の本町への移転は、建設場所次第では都市計画法や農地法などの開発制限への対応や周辺環境への配慮も必要となる。あく

まで熊本県の意向と主体的な取組が不可欠であると考えます。

移転候補地については菊陽町が誘致を表明しているが、本町も空港やインターチェンジがあり、立地的には申し分ないと思っている。また、移転されればスポーツ振興や地域活性化に繋がる期待がある一方、球場までのアクセス道路や域交通の渋滞などの課題も推察されることから、移転候補地としての表明については、熊本県及び周辺自治体の動向を注視しながら、慎重な検討が必要と考えている。



移転、再整備される藤崎台県営野球場

そのほかの質問事項

西山 現段階において広安地区の新たなグラウンドの構想はどの程度進んでいるのか。

町長 広安民町民第一グラウンドの今後の利活用や、公園機能を併せて検討していく必要があり、現段階では候補地や施設概要を示せる状況ではないが、町民に喜んでもらえるワクワクするグラウンドにしたいと考えている。

西山 惣領交差点から秋津川惣領橋までの通学路となっている道路拡張工事の進捗は。

町長 県と連携して拡張する部分の用地買収を迅速に進め、用地取得が完了した区間から順次工事を発注し、早期の工事完了を目指す。

上益城5町ごみ処理施設の 長期的な利益の検討は

再度の試算はしないが
長期的に大きな利益がある



坂井金次郎議員

坂井 上益城5町のごみ処理施設建設について、民間業者が産業廃棄物処理施設を建設した場合、町の財政的な利益は如何ほどになるのか。

町長 上益城5町による計画時の整備事業費156億円が不要になると聞いている。

坂井 試算可能となった時点で、長期的視点でも大きな利益があるか、検討するのか。

町長 再度の試算は行わない。PFI事業に準じる事業であり、長期的にみても大きな利益がある。

坂井 PFI事業において、総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合VFMが重要である。産

廃処理施設は処理能力が大幅に増えるため、環境対策費が増える。VFMに類するものは計算するのか。

町長 PFI事業ではないため、VFMの算定はおこなわない。環境対策は、公民連携でも、自治体単独でも、自治体

が実施しなければならぬ。PFI事業ではないが、民間の技術力や運営能力等を利用しての公民連携事業であり、長期的に大きな利益がある。

そのほかの質問事項

坂井 放課後児童クラブに關係なく、子ども同士で遊ぶ場所、放課後安心して過ごす場所として、学校は考えられないか。



思いっきり遊べる場所とはならないのか？

町長 学校を遊び場として開放することは可能だが、誰が安全性を担保するのか、誰が見守るのか、学校の職員では、労力的に無理がある。安全安心できるシステムを（別に）考えていく必要がある。

坂井 図書館の目的とはなにか。

町長 町民に交流や学習の場を提供するとともに、図書、郷土資料等の資料閲覧により、本町の文化的素養を高めることである。

加齢性難聴者の補聴器購入 助成制度の拡充を

他自治体の助成制度を
注視し研究したい



甲斐康之議員

甲斐 町の補聴器購入の助成は、令和2年4月から県下の自治体に先駆けて始まった。現在、7市町村が助成している。他の自治体の助成内容を見ると「住民税非課税の条件廃止」「助成金の上限を5万円、2台が必要な人は10万円」「購入から5年経過で買換えの申請が出来る」など、条件が良くなっている。町の利用者の推移は、年間20名を予定しているが、初年度は19名であったものの年々減少傾向にある。5年間の利用者は55名と予定より少ない。少ない理由は何か。

補聴器購入助成自治体

住民税非課税除外	五木村・長洲町・芦北町・和水町・玉東町
補助額（上限）	五木村（5万円・2台10万円）、長洲町（3万円・2台6万円）、芦北町（3万円・2台6万円）、和水町（3万円）玉東町（3万円）、益城町（3万円）
5年経過再申請可能	五木村・天草市・芦北町

町長 利用者数は、申請主義であり年度によってばらつきはある。利用者が積極的に活用できるように、ホームページ・広報紙への掲載で周知を図っていく。好条件の自治体があることは認識している。他自治体の制度を注視しながら助成制度の拡充について研究していきたい。

そのほかの質問事項

甲斐 8月の記録的大雨で広崎から安永までの広範囲で浸水被害が起きた。集中豪雨に対する被害防止対策は。

町長 3時間の最大降雨量が観測史上1位となり急激な降雨で広崎から安永まで浸水被害が起きています。内水対策は重要と認識している。流下能力が低下している箇所など整備を行っている。

甲斐 避難所の環境（トイレ・居住占有スペース）は政府指針の水準を下回っていないか。

町長 トイレの設置数は基準を満たしているが、居住占有スペースは想定避難者数に対し基準を満たしていない。指定避難所の増加に取り組んでいきたい。

益城町子ども議会 開催



第7回益城町子ども議会が8月12日に開催されました。益城町役場3階にある議場を使用して、普段の議会と同じように議事が進められ、一般質問が行われました。

実際に子どもたちが困っていることや、あればいいな、作ってほしいなど考えるもの、今後の益城町がもっともっと良くなるために必要と考えることなど、町政や将来の町づくりに向けての提案や要望等たくさんの声を聴くことができました。

今回行われた9月定例議会の総括質疑においても、子ども議会で提案された質問について質疑・応答が見られました。実際に子どもたちが抱えている問題は大人には見えにくく、素直な気持ち、柔軟な子ども目線での質問や意見は、私たち議員にとっても新しい発見になり、参考になるものと考えさせられました。



1番 津森小学校 浅井 千尋
iPadのケースの変更について



9番 広安小学校 片岡 昂
公園でのボール遊びと遊具のある公園の増設について



2番 津森小学校 小田 六華
町の図書館の魅力向上について



10番 広安小学校 吉津 莉朋
熊本地震後、現在の復旧、復興の状態について



3番 益城中央小学校 松山 菜那歩
野良犬、野良猫について



11番 益城中学校 後藤 颯希
益城の文化や歴史に触れる機会の増加について



4番 益城中央小学校 山本 唯愛
通学路の歩道について



12番 益城中学校 末藤 映汰
県道の4車線化と町の施設について



5番 広安西小学校 小柳 勇人
益城町の水資源について



13番 木山中学校 奥村 幸羽
カーブミラーや標識の設置について



6番 広安西小学校 城 楓香
水辺で遊べる施設について



14番 木山中学校 石川 透
益城町フェスティバルの開催と企画・運営について



7番 飯野小学校 林田 心結
飯野小学校のイベントについて



15番 木山中学校 野田 ゆづき
副議長（後半議事進行）



8番 飯野小学校 久保田 杏菜
飯野小学校の遊具の設置について



16番 益城中学校 田口 世乃
議長（前半議事進行）

令和7年第4回定例議会は12月8日(月)招集予定です。詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。(☎286-3351)

議会広報編集特別委員会

委員長	宮崎 金次
副委員長	西山 洋一
委員	甲斐 康之
委員	下田利久雄
委員	木村 正史
委員	坂井金次郎

担当 甲斐 康之

▼今年夏の夏は特に異常な暑さで連日のように熱中症警戒アラートが発表され、公共施設のクーリングシエルトも開設されました。さらに、8月、県内に線状降水帯が発生し、町では瞬間最大雨量が観測史上1位となる集中豪雨に見舞われ家屋や車両の浸水被害が起きました。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。さらなる、防災対策が求められています。

▼新型コロナウイルスや冬場の感染と見られていたインフルエンザが季節を問わず、広がっています。冬場を迎え空気乾燥により増々感染者の増加が懸念されます。

▼広報編集委員は、より良い議会誌発行ができるよう、全国町村議会広報研修会に参加してきました。「読まれる広報紙」、「撮影技術ノウハウの向上」、「議会活性化と連動した広報紙」の作りかたなど、住民の皆さんへ町政に参加をうながす議会報づくりに引き続き努力する所存です。

後編 編集

▼今年の夏は特に異常な暑さで連日のように熱中症警戒アラートが発表され、

令和7年9月 益城町議会だより 清水

発行/益城町議会(議長 榮正敏) 編集/議会広報編集特別委員会
〒861-2295 熊本県上益城郡益城町宮園702 TEL096-286-3351(直通) FAX096-286-4523
印刷/ホープ印刷(株)



この議会だよりはエコマーク商品の再生紙をつかっています